



令和3年度 公益社団法人徳島県看護協会

通常総会の開催に寄せて

徳島県知事（全国知事会会長）

飯泉 嘉門

このたび、公益社団法人徳島県看護協会の令和3年度通常総会が開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

稲井会長はじめ、看護協会の皆様には、日頃より、患者の皆様に寄り添った質の高い看護の提供に、日夜、ご尽力されるとともに、本県の保健・医療・福祉サービスの向上に、一方ならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、看護職はじめ、医療従事者の皆様には、「新型コロナウイルス感染症」との闘いの最前線である医療現場や福祉施設において、自身の感染リスクも顧みず、患者の皆様へのケアにあたられており、その献身的なご尽力に、深く敬意を表する次第であります。

さらに、「ワクチン接種業務」においては、「AWAナース」をはじめ、多くの看護職の皆様にご協力を申し出ただくとともに、看護協会におかれては、希望者を対象に、ワクチン接種に係る「スキルギャップ研修会」を複数回にわたり実施されるなど、時宜を得た活動の展開は、県として、誠に心強く、改めて心より感謝申し上げます。

県といたしましても、4月には、大規模クラスターの発生や新規感染者数の急増など、変異株の猛威をまざまざと見せつけられたところであり、引き続き、強い危機感を持って対策を進めて参ります。

さて、少子高齢化の進行や医療技術の高度化・専門化、医療提供の場の多様化など、今日の医療・看護を取り巻く環境は、大きく変化しております。

こうした中、看護協会におかれては、看護職の資質向上や活躍支援はもとより、県民の皆様が、住み慣れた地域で、自分らしく、安心して療養生活を送ることができる、「徳島ならではの」地域包括ケアシステム構築に向けた「訪問看護支援センター」や、地域における看護の質の向上や人材不足の緩和を図る「AWAナースサポートセンター」を運営いただくなど、「全ての県民が安心して暮らせる徳島づくり」に、積極的にご尽力を頂いております。

県といたしましても、「高度急性期」から「在宅医療」に至るまでの切れ目ない医療提供体制を構築し、県民の皆様が安心して医療を受けられる「県下全域の医療の最適化」を目指し、救急、災害をはじめ各課題に応じた医療提供体制の充実、医療機関の高度化や連携強化など、着実に取組みを進めているところです。

また、今後は、「デジタル社会」の実装による地域課題の解決を図るため、昨年、商用化基地局による「4K映像リアルタイム伝送」を成功させた、全国初の「5G遠隔医療実証実験」の成果に基づき、「遠隔医療ツール」の県立病院への本格実装と県内病院への展開にも取り組んで参ります。

今後とも、県民の皆様の「命」と「健康」を守る地域医療の提供に、全力で取り組んで参りますので、看護協会の皆様におかれては、なお一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、徳島県看護協会の更なる発展と、会員の皆様の、今後ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。